

各学部が特色入試を通じて求める人物像

■ 総合人間学部

総合人間学部は、異質な学問分野の接触と相互作用を基盤とした新たな「人間の学」の創出を目指しています。積み上げられてきた既成の学問の成果を生かしながら問題を発見し追究すること、問題の解決に向けて学問間の連携を図り新たな体系を創出することが、本学部の目的です。こうした意味での「総合」、「文理融合」の意義を理解し、これを積極的に進めようとする学生諸君が門をたたくことを望んでいます。

■ 文学部

文学部は、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することをめざす学生を求めています。特色入試では、基礎学力を十分に備え、これからの文学部での勉学についてプランと展望を持ち、意欲を持って広い意味での勉学に励む人を求めています。

■ 教育学部

教育学部は、教育と心・人間・社会にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育を行っています。

そこで、次のような人物を求めています。

- ・ 教科の学習及び総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、テーマを設定して探究活動を行い、卓越した学力を身につけ、成果をあげた者、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、深い洞察を得ている者
- ・ 人間と社会、教育や心理について関心を持ち、論理的・批判的に思考し、問題を解決する能力とコミュニケーション能力を持つ者
- ・ 将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、社会に貢献する志を持つ者

■ 法学部

現在の社会では、従来の認識枠組みでは十分に検討できない多様な課題が発生し、一国家だけでは対応できない課題が進行しています。こうした課題に対応するには、社会の多様性を反映した様々なバックグラウンドを持つ学生が必要だと考えています。解決すべき課題を様々な事象から言語化する能力を持ち、国境の壁、言語の壁、ジェンダーの壁にとらわれることなく、様々な見解・価値観を持つ他者との対話・協働を通じて、広い視野から国家や社会のあり方を深く考え、法政策の提言や実践によって課題解決に取り組もうとする生徒の受験を望んでいます。

そこで、次のような資質のある人材を広く全国から求めています。

- ・ グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有し、かつ、グローバルに活躍するにあたって必須となる英語の基本

的な四技能をバランスよく身につけていること

・人々が協働し、共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること

■ 経済学部

特色入試では、大学院への進学を希望し、下記の進路を目指す学生を求めています。

1. 文系型入試:国内外の幅広い経済問題に興味をもち、社会科学の総合的知見を重視した包括的なアプローチにもとづいて課題解決を志向する学生。特に、国際連携を重視した修士課程へ進学し、広い視野と高度な英語力を習得するとともに、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを発揮して産業界・官庁(国際機関を含む)にて活躍を目指す学生。もしくは、研究者養成のための修士課程・博士後期課程に進学し、持続性を重視した経済政策論・経済発展論などの分野で世界をリードする研究者になることを目指す学生。
2. 理系型入試:数学・統計モデルを用いた理論・計量分析に興味を持つ学生。特に、高度専門人材養成を目指す修士課程へ進学し、データサイエンス・計量経済学に関する高度な専門知識を修得して産業界・官庁にて活躍を目指す学生。もしくは、研究者養成を目指す修士課程・博士後期課程に進学し、経済理論・応用経済学などの分野で世界をリードする研究者になることを目指す学生。

■ 理学部

理学部は、自由な雰囲気の下での学問的創造および自律的学修を大切にしており、1学科制の下、緩やかな専門化を経て、各学生の興味や適性に合致した専門分野に向う教育を行っています。

理学部では、望む学生像として次の2項目を掲げています。(1)自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人。(2)高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人。そのような人の中で、数理科学入試では特に数理科学の分野において極めて優れた才能を持つ人、また生物科学入試では生物科学の分野に志向性を持ち科目に偏らない幅広い学力を持つ人の受験を望んでいます。

■ 医学部医学科

京都大学は創立以来、自由の学風、闊達な対話を重視し、世界トップレベルの先端的学術研究を推進してきました。医学部医学科は、社会が大きく変革している現代においても、京都大学の学問環境で学び、研究することで、世界をリードできる人材、具体的には以下の要件を満たす人材を全国から広く求めます。

1. 医学・生命科学に深い関心を持ち、かつ真摯な姿勢、熱意を持って真理を探究できる将来の世界の医学をリードするような医学研究者としての資質・適性を持つ人材。
2. 1. 以外でも自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ医学研究者としての資質・適性を持つ人材も考慮します。
3. 本学が提供する MD-PhD コースへの進学を希望する人材。

■ 医学部人間健康科学科

医学部人間健康科学科は、国家資格をベースに、国際的視野を兼ね備えた医療専門職のリーダーや研究者の養成を推進します。特色入試ではこのうち看護師、保健師、理学療法士、作業療法士へのモチベーションを持った学生を募集します。多面的かつバランスの良い思考力で課題や問題を抽出し解決していく医療のエキスパートとなり得る人材を求めています。

■ 薬学部薬科学科

京都大学薬学部薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、リーダーとして国際的に活躍することのできる人材を育成しています。そのため、特色入試では、特に次のような要件を満たす人材を全国から求めます。

1. 創薬科学研究に関心と興味を持ち、大学院薬学研究科で博士の学位を取得した後に、世界の創薬科学の革新と発展をリードする研究者となる志と資質を有する人
2. 知的好奇心に基づいた科学的探求力と英語力に優れ、自発的な自然科学の学習や探求活動を実施してきた人
3. 十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目標を設定して挑戦できる行動力と最後までやり遂げる力がある人

■ 薬学部薬学科

京都大学薬学部薬学科では、医療薬学や先端医療に関係する幅広い分野において、国際的なリーダーとして薬学研究を牽引できる人材を育成しています。そのため、特色入試では、特に次のような要件を満たす人材を全国から求めます。

1. 医療薬学研究に関心と興味を持ち、大学院薬学研究科で博士の学位を取得した後に、薬剤師資格を背景にして世界の薬学の発展をリードする研究者となる志と資質を有する人
2. 知的好奇心に基づいた科学的探求力に優れ、医療人であるとともに教育者・研究者となるにふさわしい人間性を備えており、倫理観を持って自発的な科学の学習や探求活動を実施してきた人
3. 十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目標を設定して挑戦できる行動力と最後までやり遂げる力がある人

■ 工学部地球工学科

持続的な発展をめざす人類社会のより良い未来に向けて、社会インフラの構築や都市・地域の開発と防災、資源・エネルギーの高度利用と新規開発、地球・地域環境の保全と改善に関する革新的技術を自ら創り出すことに強い意欲をもち、それに必要な高い基礎学力を有し、将来、国際的視野をもったリーダーとなり得る人材を求めています。

■ 工学部建築学科

建築学科は、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学、さらには芸術にも深い関心をもち、それらの特筆すべき能力、高い基礎学力とリーダーシップを持つ人材を求めています。

■ 工学部物理工学科

次世代の画期的な機械システム、新材料、エネルギーシステムを開発すること、宇宙空間への活動の場を拓いていくことに強い関心を持ち、これらの課題の実現に向け、古典物理学から近代物理学に到る幅広い物理学を基礎とした工学を学ぶ強い意欲、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人を求めます。

■ 工学部電気電子工学科

自然現象や科学技術、特に電気電子工学関連の学術分野に対する強い興味と旺盛な探究心をもつとともに、専門教育を受けるのに十分な高い基礎学力と論理的思考力を有しており、かつ科学技術に関する特筆すべき能力やリーダーシップを備えた創造性豊かな人材を求めます。

■ 工学部情報学科

情報学科では、高度情報社会における幅広い問題を情報学の知識と数理的思考により解決することに強い関心を持つ人を求めています。特色入試ではさらに、授業科目の一環として実施した課題研究や、科学に関する課外活動で顕著な実績を上げた経験を有する人を求めます。

■ 工学部理工化学科

理工化学科では、持続可能な社会をつくりだすために、地球規模課題に対して化学が求められているミッションを念頭に、創造的な基礎技術・先端技術の開発や学際領域の研究を推進しています。そのため、化学および化学に関連する工学の基礎学理を理解し、広い視野から物事を論理的に解決する能力、未知なる課題に取り組む意欲と創造性、高い倫理観、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを有し、将来、国際的に活躍する研究者、技術者になり得る人材を求めています。

■ 農学部資源生物科学科

資源生物科学科では、知的好奇心を出発点として最先端の基礎生物学に取り組み、幅広い応用分野に展開をしていく研究と、現在の農水畜産業などが抱える諸問題の解決を目指して資源生物と関連分野に関する知を究めていく研究を推進しています。これら二種類の出発点の異なる研究から得られる基礎と応用の知を統合することで、当学科の究極目標であるより豊かで持続的な社会の実現を目指した教育と研究を行っています。

そこで、特色入試では、対象とする様々な生物と自ら向き合い、自ら問い、自ら考えて解決の道を切り拓く強い意欲を持ち、学問の基礎を大切にする人材を求めます。また、農水畜産業などの応用的課題について取り組む視野の広い人材も求めています。特に、将来、博士の学位を取得して、豊かな知的好奇心と科学的探求心をもち世界をリードする研究者となることを目指す人材を求めています。

■ 農学部応用生命科学科

生命現象や生物の機能を化学的なアプローチによって解明・活用することに興味があり、歴史を踏まえて自身と社会の未来を設計することができ、多くの分野にまたがる領域にも飛び込んでいける人材を求めています。

■ 農学部地域環境工学科

食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識と工学的問題解決能力をもって社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

■ 農学部食料・環境経済学科

食料・環境・農業などの分野において、大学卒業後、大学院へ進学する意欲を持ち、高度な専門知識を持って国際社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

■ 農学部森林科学科

森林科学(森林や木質資源に関する基礎及び応用科学)の分野について学びつつ、研究を深めることに強い関心があり、高度な専門知識と問題解決能力を習得する強い意欲と能力のある人材を求めています。また卒業後は、森林管理や生物多様性保全といった面から、あるいは木材由来のさまざまな材料を駆使して持続可能な社会の確立に貢献する人材となることを期待しています。森林科学のキーワードは多岐にわたります。森林管理、森林生態系、生物多様性、ランドスケープ、緑化、土砂災害、森林由来の生物資源や機能性材料、木造建築、木質文化財、木材と感性、バイオマス、セルロースナノファイバー、きのこ、などです。

■ 農学部食品生物科学科

最先端の生命科学研究に取り組むことに興味を持ち、大学卒業後に大学院修士・博士後期課程に進学して博士の学位を取得したうえで、国内外のアカデミックなポジション(大学、国の研究機関等)で、世界トップレベルの食と健康に関する基礎研究を推進する人材を求めています。